

1. 試験目的

除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所

弘前市中崎

(2) 実施農家

石戸谷 久

(3) 実施支店

弘前西支店

(4) 担当者

松岡 巧子

(5) 概要

品種

豊盃

ほ場の土性

壤土

代かき日

5月17日

移植日

5月22日

活着状況

良好

生育状況

良好

減水深

2.0 cm/日

雑草状況

無

(6) 試験構成

試験面積

60 a

(

試験区

30 a

対照区

30 a

)

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月24日	エリジャンEW	100ml /10a	5月24日	エリジャン乳剤	300ml /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	晴れ

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○														
対照	○														

(2) 薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

水口施用のため、作業が楽でよい。

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	4	3

(2) 評価の理由

除草効果 対照区と同等のため

実用性 対照区と同等のため

使いやすさ 散布作業が省力的

(3) その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所 大和沢 (2) 実施農家 齊藤 和人  
 (3) 実施支店 弘前東 (4) 担当者 佐藤 龍彦  
 (5) 概要  
 品種 まっしぐら ほ場の土性 埴壤土  
 代かき日 5月19日 移植日 5月22日  
 活着状況 良好 生育状況 良好  
 減水深 1.0 cm/日 雑草状況 少

(6) 試験構成

試験面積 20 a ( 試験区 10 a 対照区 10 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月26日	エリジャンEW	100ml/10a	5月26日	エリジャン乳剤	300ml/10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	晴れ

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○														
対照	○														

(2) 薬害の発生

無  
 ※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

計量の手間はあるが、流すだけなので作業が楽だった。

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	4	4

(2) 評価の理由

除草効果 同等  
 実用性 あり  
 使いやすさ 良い

(3) その他特記事項

1. 試験目的

除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所

弘前市船水

(2) 実施農家

石戸谷 久

(3) 実施支店

弘前西支店

(4) 担当者

松岡 巧子

(5) 概要

品種

豊盃

ほ場の土性

砂壤土

代かき日

5月17日

移植日

5月21日

活着状況

良好

生育状況

良好

減水深

2.0 cm/日

雑草状況

無

(6) 試験構成

試験面積

60 a

(

試験区

30 a

対照区

30 a

)

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月25日	ディオール1キロ粒剤	1kg /10a	5月25日	ゼータタイガー1キロ粒剤	1kg /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	雨のち曇り

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○								○						
対照	○								○						

(2) 薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

どちらも効果があった。

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2) 評価の理由

除草効果 対照区と同等のため

実用性 対照区と同等のため

使いやすさ 対照区と同等のため

(3) その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所 弘前市八幡字須崎 (2) 実施農家 櫻庭 智昭

(3) 実施支店 岩木支店 (4) 担当者 藤田 静剛

(5) 概要

品種 つがるロマン ほ場の土性 埴壤土

代かき日 5月17日 移植日 5月20日

活着状況 良好 生育状況 良好

減水深 2.0 cm/日 雑草状況 少

(6) 試験構成

試験面積 20 a ( 試験区 10 a 対照区 10 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月26日	ディオール1キロ粒剤	1kg /10a	5月26日	ベッカク1キロ粒剤	1kg /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	曇りのち雨	晴れのち曇り	晴れ	曇り	晴れ	雨	曇り時々晴れ

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験						○	○								
対照						○	○								

(2) 薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

対象区と同等に良く効いた

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2) 評価の理由

除草効果 あり

実用性 あり

使いやすさ 対象区と同等

(3) その他特記事項

試験区ホタルイ極少発生。試験区シズイ、ホタルイ極少発。(水抜け確認)

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所 弘前市青女子 (2) 実施農家 下山 和人

(3) 実施支店 弘前北支店 (4) 担当者 長尾 紀夫

(5) 概要

品種 青天の霹靂 ほ場の土性 埴壤土

代かき日 5月13日 移植日 5月17日

活着状況 良好 生育状況 良好

減水深 2.0 cm/日 雑草状況 無

(6) 試験構成

試験面積 50 a ( 試験区 20 a 対照区 30 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月19日	ディオーレフロアブル	500m /10a	5月19日	ゼータタイガーフロアブル	500m /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○								○						
対照	○								○						

(2) 薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

差は無かった。

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2) 評価の理由

除草効果 同等

実用性 同等

使いやすさ 同等

(3) その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 清水森 (2)実施農家 吉川 功  
 (3)実施支店 弘前東 (4)担当者 佐藤 龍彦  
 (5)概要  
 品種 まっしぐら ほ場の土性 埴壤土  
 代かき日 5月10日 移植日 5月13日  
 活着状況 良好 生育状況 良好  
 減水深 2.0 cm/日 雑草状況 多

(6)試験構成

試験面積 50 a ( 試験区 30 a 対照区 20 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月16日	ディオーレフロアブル	500ml /10a	5月16日	ゼータタイガーフロアブル	500ml /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	雨	雨	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>						
対照	<input type="checkbox"/>								<input type="checkbox"/>						

(2)薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

両区ともあまり効かなかった

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	2	2	3	2

(2)評価の理由

除草効果 効きが弱かった  
 実用性 同等  
 使いやすさ 同等

(3)その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所 弘前市船水 (2) 実施農家 石戸谷 久  
 (3) 実施支店 弘前西支店 (4) 担当者 松岡 巧子  
 (5) 概要  
 品種 豊盃 ほ場の土性 砂壤土  
 代かき日 5月17日 移植日 5月21日  
 活着状況 良好 生育状況 良好  
 減水深 2.0 cm/日 雑草状況 無

(6) 試験構成

試験面積 55 a ( 試験区 30 a 対照区 25 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月26日	ディオージェンボ	400 g /10a	5月26日	ゼータタイガージェンボ	300 g /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	雨のち曇り	晴れ

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○								○						
対照	○								○						

(2) 薬害の発生

無  
 ※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

どちらも効果があった。

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2) 評価の理由

除草効果 対照区と同等のため  
 実用性 対照区と同等のため  
 使いやすさ 対照区と同等のため

(3) その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所 藤崎町俵舛 (2) 実施農家 工藤 忠彦  
 (3) 実施支店 藤崎支店 (4) 担当者 鳴海 清志郎  
 (5) 概要  
 品種 まっしぐら ほ場の土性 埴壤土  
 代かき日 5月14日 移植日 5月20日  
 活着状況 良好 生育状況 良好  
 減水深 1.0 cm/日 雑草状況 少

(6) 試験構成

試験面積 110 a ( 試験区 50 a 対照区 60 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月25日	ディオージェンボ	400 g /10a	5月25日	ゼータタイガージェンボ	300 g /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	雨のち曇り	晴れ	曇りのち晴れ	晴れ	曇り	晴れ	雨のち曇り

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○					○									
対照	□					□									

(2) 薬害の発生

無  
 ※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

去年と違い良く効いていた。これなら問題なく使用できる。

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	3	3	4

(2) 評価の理由

除草効果 対照区より良く効いたため。  
 実用性 対照区と同等のため。  
 使いやすさ 対照区と同等のため。

(3) その他特記事項



1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所 弘前市八幡字須崎 (2) 実施農家 櫻庭 智昭

(3) 実施支店 岩木支店 (4) 担当者 藤田 静剛

(5) 概要

品種 つがるロマン ほ場の土性 埴壤土

代かき日 5月17日 移植日 5月20日

活着状況 良好 生育状況 良好

減水深 2.0 cm/日 雑草状況 少

(6) 試験構成

試験面積 20 a ( 試験区 10 a 対照区 10 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月26日	ディオール顆粒	80 g /10a	5月26日	ベッカク豆つぶ250	250 g /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	曇りのち雨	晴れのち曇り	晴れ	曇り	晴れ	雨	曇り時々晴れ

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験						○	○								
対照	○	○	○				○								

(2) 薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

対象区と同等に良く効いた

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	4	3

(2) 評価の理由

除草効果 あり

実用性 あり

使いやすさ 水口処理で作業の軽減

(3) その他特記事項

試験区ホタルイ極小発生。対象区シズイ、ノビエ極少発生。

1. 試験目的

除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所

大鰐町唐牛

(2) 実施農家

藤田 勉

(3) 実施支店

大鰐支店

(4) 担当者

寺田 佳洋

(5) 概要

品種

つがるロマン

ほ場の土性

埴壤土

代かき日

5月17日

移植日

5月20日

活着状況

普通

生育状況

普通

減水深

2.0 cm/日

雑草状況

少

(6) 試験構成

試験面積

60 a

( 試験区

30 a

対照区

30 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月25日	ディオール顆粒	80 g /10a	5月25日	ゼータタイガー1キロ粒剤	1kg /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴	曇	曇	晴	晴	晴	晴れ	晴

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験							○	○	○						
対照							□		□						

(2) 薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

散布が容易であり、昨年度同様除草効果も高い。次年度も使用したい。

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	5	5	5	5

(2) 評価の理由

除草効果 除草効果が高かったため。

実用性 あり。

使いやすさ 作業の軽減ができるため。

(3) その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 大鰐町三ッ目内 (2)実施農家 山崎 光司

(3)実施支店 大鰐支店 (4)担当者 寺田 佳洋

(5)概要

品種 つがるロマン ほ場の土性 埴壤土

代かき日 5月18日 移植日 5月20日

活着状況 普通 生育状況 普通

減水深 2.0 cm/日 雑草状況 少

(6)試験構成

試験面積 60 a ( 試験区 30 a 対照区 30 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月21日	カウントダウン1キロ粒剤	1kg /10a	5月21日	ベッカク1キロ粒剤	1kg /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴	曇	曇	晴	晴	晴	晴れ	晴

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験							○	○							
対照							○	○							

(2)薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

今年からドローン散布したが同等の効果だった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

除草効果 同等

実用性 同等

使いやすさ 同等

(3)その他特記事項

空中散布にて散布ムラあり。

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所 弘前市八幡字須崎 (2) 実施農家 櫻庭 智昭

(3) 実施支店 岩木支店 (4) 担当者 藤田 静剛

(5) 概要

品種 つがるロマン ほ場の土性 埴壤土

代かき日 5月17日 移植日 5月20日

活着状況 良好 生育状況 良好

減水深 2.0 cm/日 雑草状況 少

(6) 試験構成

試験面積 20 a ( 試験区 10 a 対照区 10 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月26日	カウントダウン1キロ粒剤	1kg /10a	5月26日	ベッカク1キロ粒剤	1kg /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	曇りのち雨	晴れのち曇り	晴れ	曇り	晴れ	雨	曇り時々晴れ

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○			○			○								
対照						○	○								

(2) 薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

対象区と同等に良く効いた。

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2) 評価の理由

除草効果 あり

実用性 あり

使いやすさ 対象区と同等

(3) その他特記事項

試験区シズイ極少発生。対象区シズイ、ホタルイ極少発。(水抜け確認)

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 弘前市青女子 (2)実施農家 下山 和人  
 (3)実施支店 弘前北支店 (4)担当者 長尾 紀夫  
 (5)概要  
 品種 青天の霹靂 ほ場の土性 埴壤土  
 代かき日 5月13日 移植日 5月17日  
 活着状況 良好 生育状況 良好  
 減水深 2.0 cm/日 雑草状況 無

(6)試験構成

試験面積 50 a ( 試験区 20 a 対照区 30 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月19日	カウントダウンフロアブル	500m /10a	5月19日	ゼータタイガーフロアブル	500m /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○								○						
対照	○								○						

(2)薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

差は無かった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

除草効果 同等  
 実用性 同等  
 使いやすさ 同等

(3)その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 清水森 (2)実施農家 吉川 功  
 (3)実施支店 弘前東 (4)担当者 佐藤 龍彦  
 (5)概要  
 品種 まっしぐら ほ場の土性 埴壤土  
 代かき日 5月10日 移植日 5月13日  
 活着状況 良好 生育状況 良好  
 減水深 2.0 cm/日 雑草状況 少

(6)試験構成

試験面積 50 a ( 試験区 30 a 対照区 20 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月16日	カウントダウンフロアブル	500ml /10a	5月16日	ゼータタイガーフロアブル	500ml /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7)気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	雨	雨	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り

3. 試験結果

(1)除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験				□											
対照	□								□						

(2)薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2)農家の意見

草の発生はどっちもあったが、対照区よりは少ない。効いてると思う。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	3	3	3

(2)評価の理由

除草効果 あり  
 実用性 あり  
 使いやすさ 同等

(3)その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所 藤崎町俵舛 (2) 実施農家 工藤 忠彦  
 (3) 実施支店 藤崎支店 (4) 担当者 鳴海 清志郎  
 (5) 概要  
 品種 まっしぐら ほ場の土性 埴壤土  
 代かき日 5月14日 移植日 5月20日  
 活着状況 良好 生育状況 良好  
 減水深 1.0 cm/日 雑草状況 少

(6) 試験構成

試験面積 120 a ( 試験区 60 a 対照区 60 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月25日	カウントダウンジャンボ	400 g /10a	5月25日	ゼータタイガージャンボ	300 g /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	晴れ	雨のち曇り	晴れ	曇りのち晴れ	晴れ	曇り	晴れ	雨のち曇り

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○				○	○									
対照	□					○									

(2) 薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

背中を見せる水田だが、良く効いていた。来年も同じ水田でどうなるか見てみたい。

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	3	3	4

(2) 評価の理由

除草効果 対照区より良く効いたため。  
 実用性 対照区と同等のため。  
 使いやすさ 対照区と同等のため。

(3) その他特記事項

1. 試験目的 除草効果の確認。

2. 試験内容

(1) 実施場所 弘前市船水 (2) 実施農家 石戸谷 久  
 (3) 実施支店 弘前西支店 (4) 担当者 松岡 巧子  
 (5) 概要  
 品種 豊盃 ほ場の土性 砂壤土  
 代かき日 5月17日 移植日 5月21日  
 活着状況 良好 生育状況 良好  
 減水深 2.0 cm/日 雑草状況 無

(6) 試験構成

試験面積 50 a ( 試験区 25 a 対照区 25 a )

試験区			対照区		
散布日	資材名	散布量	散布日	資材名	散布量
5月26日	カウントダウンジャンボ	400 g /10a	5月26日	ゼータタイガージャンボ	300 g /10a
		/10a			/10a
		/10a			/10a

(7) 気象経過

	移植当日	1日後	2日後	3日後	散布当日	1日後	2日後	3日後
天候	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	雨のち曇り	晴れ

3. 試験結果

(1) 除草効果

	ノビエ	アゼナ	コナギ	ミズアオイ	イボクサ	ホタルイ	シズイ	クログワイ	オモダカ	ヘラオモダカ	ウリカワ	ミズガヤツリ	浮草類	藻類	表層剥離
試験	○								○						
対照	○								○						

(2) 薬害の発生

無

※発生している雑草の効果判定のみ記入。

《効果判定》○：良く効いた。 □：あまり効かなかった。 ×：ほとんど効かなかった。

(2) 農家の意見

どちらも効果があった。

4. 評価

(1) 資材の評価

項目	除草効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2) 評価の理由

除草効果 対照区と同等のため  
 実用性 対照区と同等のため  
 使いやすさ 対照区と同等のため

(3) その他特記事項



1. 試験目的 空中散布での防除効果の確認。

2. 対象病害虫 斑点米カメムシ類

3. 試験内容

(1) 実施場所 藤崎町俵舂 (2) 実施農家 工藤 忠彦

(3) 実施支店 藤崎支店 (4) 担当者 鳴海 清志郎

(5) 概要

品 種 まっしぐら 播 種 量 160 g/箱

播 種 日 4月8日 苗の種類 中苗 ・ ハウス

代かき日 5月14日 移 植 日 5月20日

出 穂 日 7月31日 収 穫 始 め 9月23日

(6) 試験構成

試験面積 120 a ( 試験区 60 a 対照区 60 a )

試験区			対照区		
散布日	薬剤名	散布量	散布日	薬剤名	散布量
8月17日	エクシードF	0.8ℓ / 10a	8月17日	スタークル液剤10	0.8ℓ / 10a
		/ 10a			/ 10a
		/ 10a			/ 10a

4. 試験結果

(1) 防除効果

対象病害虫	防除前発生状況	防除後被害状況	
		試験区	対照区
カメムシ類	普通	少ない	少ない

(2) 薬害の発生

無

(3) 農家の意見

試験区対照区ともにカメムシ被害は少なく、違いがわからなかった。来年どうなるかまたみたい。来年も引き続き効果を見てみたい。

5. 評価

(1) 資材の評価

項目	散布効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2) 評価の理由

防除効果 対照区と同等。

実用性 対照区と同等。

使いやすさ 対照区と同等。

(3) その他特記事項

1. 試験目的 空中散布での防除効果の確認。
2. 対象病害虫 斑点米カメムシ類
3. 試験内容
- (1) 実施場所 弘前市境関 (2) 実施農家 小田桐 克也
- (3) 実施支店 弘前中央支店 (4) 担当者 泉 荘
- (5) 概要
- |       |       |         |          |
|-------|-------|---------|----------|
| 品 種   | 青天の霹靂 | 播 種 量   | 140 g/箱  |
| 播 種 日 | 4月13日 | 苗の種類    | 中苗 ・ ハウス |
| 代かき日  | 5月10日 | 移 植 日   | 5月15日    |
| 出 穂 日 | 7月30日 | 収 穫 始 め | 9月12日    |
- (6) 試験構成
- 試験面積 100 a ( 試験区 70 a 対照区 30 a )

試験区			対照区		
散布日	薬剤名	散布量	散布日	薬剤名	散布量
8月21日	エクシードF(16倍)	0.8ℓ / 10a	8月21日	スタークル液剤10 (8倍)	0.8ℓ / 10a
		/ 10a			/ 10a
		/ 10a			/ 10a

4. 試験結果

(1) 防除効果

対象病害虫	防除前発生状況	防除後被害状況	
		試験区	対照区
カメムシ類	多い	少ない	少ない

(2) 薬害の発生

無

(3) 農家の意見

調整時比べてみても試験区、対照区ともにカメムシ被害は少なかった。  
来年も引き続き効果を見てみたい。

5. 評価

(1) 資材の評価

項目	散布効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2) 評価の理由

- 防除効果 対照区と同等。
- 実用性 対照区と同等。
- 使いやすさ 対照区と同等。

(3) その他特記事項